

北大・地球研合同セミナー「グローバルとローカルの 視座から地域の人々の生活と健康を考える」を開催

【概要】

北海道大学大学院保健科学研究院は、連携協定を結んでいる人間文化研究機構 総合地球環境学研究所と合同で「第6回北大・地球研合同セミナー」を開催します。セミナーでは、北海道、日本国内、そして海外で調査研究を行ってきた4名の若手講演者が、グローバルとローカルの双方の視点で地域住民の「生活」と「健康」について語ります。個人、社会、国、世界、地球へと広がる多様な視点から、「生活」と「健康」について市民の方々と一緒に考えていきます。

【趣旨】

総合地球環境学研究所では、サニテーションプロジェクトとして、個人の価値観、地域のし尿に対する規範・文化・伝統・気候・経済などとサニテーション（し尿・排水処理）の関係を理解し、先進国と途上国の共通の目的として「サニテーション価値連鎖」を提案しています。「サニテーション価値連鎖」の形成には、「健康」が重要な位置を占めます。また、「健康」は地域に暮らす人々の「生活」と切り離すことはできません。セミナーでは、このような観点から「生活」と「健康」について理解を深めていきます。

- 【日 程】** 2018年6月30日（土） 14：00～18：00
【場 所】 北海道大学大学院保健科学研究院（札幌市北区北12条西5丁目）
JR札幌駅北口より徒歩15分
【主 催】 北海道大学大学院保健科学研究院、
大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所
【対 象】 一般市民、学生、教員・研究者
【参加費】 無料
【言 語】 日本語
【プログラム】 詳細はチラシに記載
【申込方法】 事前申込不要

お問い合わせ先

北海道大学大学院保健科学研究院 人類生態学研究室
T E L 011-706-3379 F A X 011-706-3379 メール taroy@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）
T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

グローバルとローカルの視座から地域の人々の生活と健康を考える

会場 北海道大学大学院保健科学研究所
〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目

- 講演1** 暮らしに伴う多様な糞便との関わりから考えるサニテーションの役割
原田 英典 京都大学大学院地球環境学 助教
- 講演2** 身近な生活環境における化学物質と子どもたちの健康
荒木 敦子 北海道大学環境健康科学研究教育センター 准教授
- 講演3** エコヘルスからアジア発展途上地域の「健康」を考える
蔣 宏偉 総合地球環境学研究所 特任助教
- 講演4** 「地域生活価値」と「ひと・もの・価値フロー」を通じて地域の生活とインフラ運営を考える
牛島 健 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 主査

日時
2018 **6/30 Sat**
14:00~18:00
入場無料・申込不要

総合地球環境学研究所（地球研）のサニテーションプロジェクトでは、個人の価値観、地域のし尿に対する規範・文化・伝統・気候・経済などとサニテーションの関係を理解し、先進国と途上国の共通の目的として「サニテーション価値連鎖」を提案します。「サニテーション価値連鎖」の形成においては「健康」が重要な位置を占めます。また、「健康」は地域に暮らす人々の「生活」と切り離すことはできません。

このたび、地球研と連携協定を結んでいる北海道大学大学院保健学科学研究所の協力のもと、第6回「北大・地球研合同セミナー」を開催します。本セミナーではグローバルな視点とローカルな視点の双方から「生活」と「健康」について話題提供いただき、会場のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

プログラム

14:00 挨拶

安成 哲三 (やすなり・てつぞう) 総合地球環境学研究所 所長

14:10 趣旨説明

山内 太郎 (やまうち・たろう) 北海道大学大学院保健科学研究院 教授・総合地球環境学研究所 教授

14:20 **講演1** 暮らしに伴う多様な糞便との関わりから考えるサニテーションの役割

原田 英典 (はらだ・ひでのり) 京都大学大学院地球環境学 助教

基本的な衛生環境が整わない環境下では、糞便は生活環境中を移動・拡散し、ライフスタイルに応じた多様な経路を通じて一部は人にたどり着き、下痢などの原因となります。本発表ではベトナムとバングラデシュの事例をもとに、生活に伴う多様な糞便との関わりと、それに伴う健康リスク、さらにはサニテーションの役割について考えてみます。

15:00 **講演2** 身近な生活環境における化学物質と子どもたちの健康

荒木 敦子 (あらかき・あつこ) 北海道大学環境健康科学研究教育センター 准教授

私たちは、日々様々な化学物質に囲まれて生活をしています。多くの物質は私たちの生活を便利で快適にする一方、健康への影響が懸念されている物質もあります。本発表では、札幌や北海道で実施した調査結果から、私たちの身近な生活環境で利用されている化学物質と、特にそれらが子どもたちに与える影響の可能性について紹介します。

15:40 休憩 (10分)

15:50 **講演3** エコヘルスからアジア発展途上地域の「健康」を考える

蔣 宏偉 (じゃん・ほんうえい) 総合地球環境学研究所 特任助教

アジア発展途上地域の経済発展は、住民生活の改善に貢献したとともに、生業、生活環境と様式の変化ももたらしています。こうした背景に、人々の健康をめぐる状況も様々であり、中国のような生活習慣病の顕在化と高齢化による「未富先老」の地域もあれば、ラオスのような感染症の脅威・栄養失調と急激な外部開発の併存する地域もあります。本発表は、エコヘルス研究を紹介しつつ、来場者と一緒にアジアの「健康」を考えていきたいと思えます。

16:30 **講演4** 「地域生活価値」と「ひと・もの・価値フロー」を通じて
地域の生活とインフラ運営を考える

牛島 健 (うしじま・けん) 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 主査

地方部では、分業によって効率化した都市とは違って、生活と産業と地域運営が一体となって営まれることで成り立っている事柄がいろいろとあります。そうした視点から、人々の生活や幸福感にも目を向けながらインフラの研究をしていますが、実際はなかなか難しく、本発表ではそうした苦悩も含めてご紹介したいと思えます。

17:10 休憩 (10分)

17:20 総合討論

17:50 閉会挨拶

齋藤 健 (さいとう・たけし) 北海道大学大学院保健科学研究院 研究院長

※記録・広報用に写真、動画の撮影を行います。あらかじめご了承ください。

会場：北海道大学大学院保健科学研究院

〒060-0812 北海道札幌市北区北12条西5丁目

【お問い合わせ】 北海道大学 大学院保健科学研究院

〒060-0812 北海道札幌市北区北12条西5丁目

人類生態学研究室 tel : 011-706-3379



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

広報室 tel : 075-707-2128

※平日の8:30~17:00の間にお問い合わせください。

● 交通アクセス

【最寄の駅から会場まで】

- ・JR線をご利用の場合
札幌駅北口から…徒歩約15分
- ・地下鉄南北線をご利用の場合
北12条駅から…徒歩約4分

【新千歳空港から札幌駅まで】

- ・JR線をご利用の場合
快速エアポート…約40分
- ・バスをご利用の場合
札幌都心行…約1時間10分

